

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-07-03
事務事業名	保健事業		根拠法令・要綱等 国民健康保険法
事業開始年度	平成17年度から		
総合計画	大項目	基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	保険給付(国保)
問合せ先	担当課(室)	保健課	職・氏名 保険医療係長 河井 健治
電話	64-1819		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	国民健康保険に加入している被保険者
目的(何のために)	被保険者の健康保持のため健康教育の実施と、疾病の早期発見による重症化予防に努める。
行政活動(どのような方法で)	総合保健施設において運動教室を開催し、健康意識の高揚に努める。また、人間ドック・脳ドックを実施することで疾病の早期発見、早期治療による重症化予防に努める。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	健康に対する意識の高揚と、健診を受診することによる疾病予防

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	人間ドック	人		136	112	131
	医療費通知	通		46,231	47,565	47,678
	貸付事業	件		76	94	27
	総合保健施設整備	m ²		1,202.8	-	-
	事業費	千円		335,762	26,084	20,407
	人件費	千円		8,905	7,740	7,681
	事業費計			344,667	33,824	28,088
	国庫支出金			187,035	38,320	15,078
	受益者負担	千円		11,797	15,072	2,798
市一般財源			116,300	-19,568	10,212	
必要人員	人		1.20	0.97	1.11	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	医療費通知件数	説明		46,231	47,565	47,678
	結果指標量	通		-	102.9%	100.2%
	対前年比	%		4,146,000	4,145,000	3,419,000
	活動コスト	円		90	87	72
単当たりコスト	円					
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	人間ドック受診者数	説明		136	112	131
	結果指標量	人		-	82.4%	117.0%
	対前年比	%		6,789,000	4,841,000	4,778,000
	活動コスト	円		49,919	43,223	36,473
単当たりコスト	円					

事業の成果			
成果指標名	人間ドック受診率	式又は説明	人間ドック受診者 / 40~70歳被保険者
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	2.07	1.72	2.09
対前年比	83.09%		121.51%
到達目標値	5.00	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的・効果の達成を評価して下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	C
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
職	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	課題認識	健康に対する関心を高めるためには必要な事業であり、継続して実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	人間ドック・脳ドックの内容を見直して実施することとしている。また、医療費通知を送付することで医療費の使用状況を把握してもらう。その他、総合保健施設で保健事業を展開することとしている。	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	説明		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了			
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	46,231通	結果指標量	150人
成果指標量	5.00			

総合評価		評価区分<A-E>	C
総合保健施設での運動教室は非常に好評で概ねの参加者が成果をあげている状況であることから、継続して事業展開することで健康意識の高揚と、体力づくりができることから医療費の抑制に大きく貢献できる。より一層の事業展開が必要である。		C	

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	説明	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	総合保健施設の有効活用	平成21年度	継続した事業展開を行なうことで、健康意識の高揚に努める。